

QUAPIX



QUAPIXとは

人間の感覚量（明るさ 目立ち 視認性）を数値化し
ビジュアル化^{※1}します。
人間の感覚量(=クオリア)に基づく新しい視環境評価システムです。

※1 東京工業大学 中村准教授が開発した、画像処理手法^{※2}を活用した解析手法
※2 コントラスト・プロファイル法：実空間の複雑な輝度分布の対比を定量化する手法

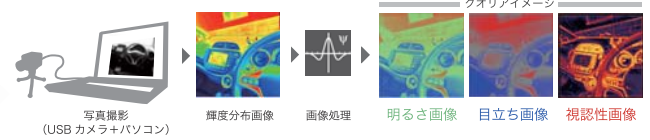
— 視環境評価システム「クオピクス」 —



3.5 視認性
メーターの視認性は確保されているだろうか？

9.0 明るさ
過剰な明るさで、まぶしくなっていないだろうか？

■ 利用方法

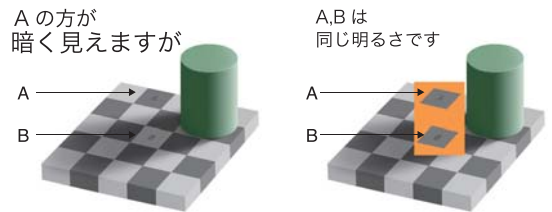


パソコンと専用カメラで撮影した写真をもとに輝度分布画像を測定。
これに画像処理を加え、人間の感覚量（明るさ、目立ち、視認性）をビジュアル化して出力します。

■ QUAPIX 利用のメリット

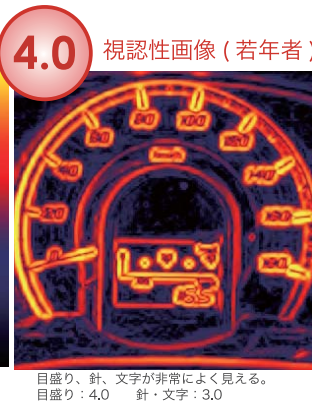
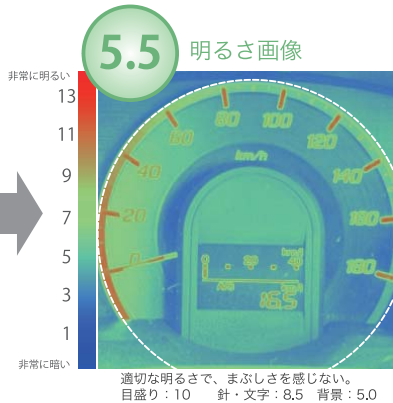
人間の感覚量（明るさ、目立ち、視認性）に基づき、視環境を評価できます。
※『明るさの同時対比』による見え方への影響も定量化する事ができます。

【明るさの同時対比】背景の明暗が見え方に影響する事



(※) Checker Shadow Illusion (Edward H. Adelson)

スピードメーター



カーナビ

